

破戒 (1948)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス 文芸

製作国 日本

色彩 B&W

時間 99分

初公開日 1948/11/30

【解説】

部落差別の問題を真正面から取り上げた島崎藤村の同名小説を、池部良と高峰秀子の主演で映画化。当初は東宝で製作が進んでいたが、争議のため製作が中止、松竹が引き継ぐ形となった。監督は木下恵介。

瀬川丑松は千曲川のほとりにある学校で教鞭を取っていたが、自分が被差別部落の出身者であることを隠して生きていた。父の「決して身分を明かしてはならない」という教えを守り、丑松は親友や思いを寄せる女性にさえ、事実を打ち明けられずにいた。代議士の高柳が丑松と同じ被差別部落出身の妻をめとり、丑松に「お互いに秘密を守ろう」と言ってきたが、丑松は「そんな女は知らない」と突っぱねてしまう。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 小倉浩一郎

原作 島崎藤村

脚本 久板栄二郎

撮影 楠田浩之

音楽 木下忠司

出演 池部良

桂木洋子

宇野重吉

菅井一郎

滝沢修

清水将夫

加藤嘉